

かけはし



2023.6. 28

すべての子どもが、
「おはよう」から「さようなら」まで、
安心して学べる比奈知小学校に

一学期の登校日も残すとところ15日となりました。私たちは学期当初より、子どもたちがいてこそその学校であると、喜びを感じながら学校教育活動を進めてきています。保護者の皆様には、新型コロナウイルス感染症防止・熱中症対策、健康管理等に一段とご配慮していただいていることに感謝申し上げます。

この時期特有の蒸し暑さもあり、熱中症の危険性が高くなっています。学校では、積極的な水分補給や適切な休憩などに気をつけながら、バランスのとれた食生活や十分な睡眠など日常生活について指導しています。

6月20日（火）のプール開きでは、1年生と6年生が一緒に入りました。水は少々冷たかったですが、梅雨の晴れ間の日差しを受け、はしゃぐ子どもたちの声が、プール内いっぱい響きました。1年生にとっては、小学校のプールに入るのは初めてです。本校には、浅いプールがないため、怖がる子がいるかと心配しましたが、一緒に入った6年生が、「足がつかへんだら、おんぶしてあげるよ。」「大丈夫、ゆっくり入って。」と声をかけてくれて、1年生も安心。みんな楽しく入れました。

2年生から5年生の子どもたちも、待ちに待ったそれぞれ学年のプール開きを、めいっばい楽しんでいました。



未来に生きる子どもたちに、
「自分の力で自分の人生を切り拓き、他者とよりよい関係を築いていく力」を

これから10年後、20年後、30年後は、どんな世の中になっているのか予測が難しい時代になると言われています。人間がやってきた仕事も、コンピューターや機械が代わってやることも増えていくでしょう。だからこそ、子どもたちには、人から言われたからではなく、小学校で学習していることを「何のために学ぶのか」を毎日の授業で考えてほしいと思います。そして、毎日の授業を通して「何ができるようになるか」を考え、「何ができるようになったのか」を振り返ることが、自ら学び自分の人生を切り拓くため必要となってきます。

学ぶ内容が示された学習指導要領が令和2年度より変わったことに伴って、教科書も変わりました。特に今回の内容には、三年生から外国語活動が始まったり、プログラミングという学習が算数や理科の学習に入ってきたりして、これまでと大きく変わったところがあります。新しい時代に向けて学んでいく内容も変わってくるとともに、どのように学ぶのか、何ができるようになるのか、何ができるようになってきたのかを分かるようにしていくことが大切だと考えます。

私たちは、そんな未来に生きる子どもたちに、「自分の力」で自分の人生を切り拓き、他者とよりよい関係を築いていく力を育成することをめざしていきます。どの子ども「伸びようとする芽」もっています。子どもたち一人ひとりに教職員が向き合い、心に寄り添った教育を実践することで、その芽を伸ばすことができると考えます。他者との温かな関わりの中で思いやりのある心を育て、次代を担う人間性豊かな児童の育成を図るための学校教育を創造していきたくと考えています。

第1回学校運営協議会

5月31日(水)、第1回学校運営協議会を開催しました。子どもたちの学習の様子を参観していただいた後、本校の現状(児童の様子や学校経営計画、小中一貫教育の現状、学校と地域との関わり)について説明をさせていただいた後、今後のコミュニティ・スクールのあり方について、委員の皆様と熟議を行いました。
 熟議テーマ;「学校(子ども)・保護者・地域が連携・協働した、防災訓練の実施に向けて」

	子ども(学校)	保護者	地域
① 何をめざすか 子どもたちにどんな力をつけていくか	学校「北けり」 児童の様子 学校経営計画 小中一貫教育	保護者の声 地域の声 連携・協働	避難場所 防災訓練 地域との連携
② 何ができるか 保護者・地域がどのようにかわっていくか	学校の現状 児童の様子 学校経営計画 小中一貫教育	保護者の声 地域の声 連携・協働	避難場所 防災訓練 地域との連携



本熟議で話し合ったことを受け、今年度については、ひなち地域ゆめづくり委員会、PTAと検討をして、できるところから取組を進めていきたくと考えています。

子どもたちの心に
寄り添いきる学級・学校経営

子どもたちの心の中にある願いや思い、困りごとや生きづらさに寄り添おうとすることを大切に教育活動を進めてきています。「他者を思いやる」には、まず「自分を思いやる心」が基盤になります。そこで、子どもたち一人ひとりの心に寄り添い、子どもたちの背景にある「よりよくありたい」と願う心に寄り添いきりたいと考えます。教職員には、日々子どもたちとの対話を大切に、その言葉や行動の背景にある思いを受けとめることを大切にしていこうと話をしていきます。これからも、子どもたちの心に寄り添いきる姿勢を大切に学級経営・学校経営にあたりたいと考えます。

①何をめざすか(どんな力をつけていくか)

- (子・学)自分で判断する力、自分の命は自分で守る、一時避難所を知る、危ない場所・安全な場所を知る
- (保)避難場所の確認、普段からのご近所どうしの交流、必要な物品をストック
- (地)地域の子どもを知る、安否確認の充実を図る
学校の連携、避難場所の確認と整備

②何ができるか(保護者・地域がどのようにかわっていくか)

- (子・学)保護者と一緒に避難場所への避難、避難してきた子どもの確認、マップ作り、親への連絡方法を知る
- (保)家族と避難する場所を確認する、地域と学校が連携した訓練を行う、保護者どうしのつながり、避難済みの表示
- (地)避難場所及び避難ルートの確認と情報提供、地域の消防団との連携、炊き出しの訓練、安否確認